

学校だより 加茂野小学校

学校の教育目標

豊かな心とやりぬく力をもつ加茂野の子
考える子・優しい子・元気な子



豊かな体験が言葉も心も豊かにする ～生き物との関わりを通して～

加茂野小学校長 堀部 昇

低学年玄関前に花壇を作り、福祉委員会の子たちと花を育てました。種から苗を育て、花壇に定植してようやくきれいな花を咲かせてくれました。朝、花壇の手入れをしていると1年生の子がやってきて花に話しかけます。「きれいに咲いてくれてありがとね。」「周りきれいにしてあげるよ。気持ちいいでしょ。」横で聞いていて心がホカホカしてきます。

9月20日(火)。この日は花壇の審査の日です。FBC(フラワー・ブラボー・コンクール)にエントリーしました。地方審査を通過し中央審査となりました。



地方審査に続いて、福祉委員長の福村花歩さんが自分の言葉で花壇の取組について語りました。その後、「一番苦労したことは何ですか」など、審査員からの質問にもはきはきと丁寧に答えました。審査された方からは「福村さん、さすがは委員長さんですね。確かな体験があるから、言葉に説得力がありましたね。素敵な取組をされていますね。」とほめていただきました。

(加茂野小学校HPで紹介しています)

豊かな体験がその子の心を潤し、

その子ならではのきらきらした言葉として表出されます

生き物との出会いがその子の心を潤し、

その子ならではのきらきらした言葉として表出されます

4月以来、生き物と素敵な出会いをしてずいぶんとくさんの子が、校長室を訪ねて来ています。

トカゲ、カエル、ダンゴムシ、ナナホシテントウ、4つ葉のクローバー、ツツジ、メダカ、キイロクチキムシ、ヤシガニ、アオムシ、ツマグロヒョウモン、クロスズメバチ、タマムシ、ピーマン、松ぼっくり、トキワハゼ、ウチワヤンマ…

共通点は、どの子も目の色を輝かせて話を聞かせてくれることです。

今日(21日)も昼休みに校長室を訪ねてくれた子がいます。「これ、校長先生にあげる！」見るとビニル袋に入ったどんぐりです。一つ一つ丁寧に洗ってありました。「待って、もっとたくさん増やしてくるね。」その後、倍ほどに増えたどんぐり。やはりきれいに水洗いしてあります。満面の笑みと一緒に「どうぞ!」と言って渡してくれました。言葉は少なくとも、数を増やそうと奔走し、一つ一つ丁寧に洗っている姿が思い浮かび、純真でひた向きの心が見えました。

そういえば、生徒指導長尾教諭がウサギ小屋を改装して「カブトムシ部屋」を作りました。どうやら、すでに数十匹のカブトムシの幼虫がいるようです。そのうち紹介がありそうです。